

やつおもて

第22号（2019年1月）
編集発行：和田公民館
協力：公民館運営推進委員
電話：（45-1918）
eメール：wada-k@ph-hamada.jp



～和田地区いろいろ見て歩く記～

おおさむ

こさむ



やまからこぞうが

ないてきた～



新年明けましておめでとうございます。平成最後のお正月をいかがお迎えでしょうか？新しい物事に会おうと何かいい事が起こりそうな気がします。皆さんがよい事に沢山出会える年になりますように祈っています！（つぬ）

【和田地区の歴史コーナー】

和田地区の神社紹介⑧です。

【本郷八幡宮】

- ◆鎮座地…大字本郷松柏山
- ◆祭 神…応神天皇、仲哀天皇、神功皇后
- ◆創 建…1247年（宝治元年）
- ◆由 緒…1247年（宝治元年）6月5日、山根家系譜略記によると、福屋兵衛兼伸の命により山根右京進兼重が（宇佐から）勧請したという。



現在の本郷八幡宮

本郷大元神社由来によると大元社の刀禰 11 人中の 4 人が宇佐に行って分霊を受けて帰り、他の 7 人が途中まで迎えに行ったという。そして 11 軒の刀禰伝承がある。しかし、本郷八幡宮の伝承では勧請して帰った 7 人が代々、この宮の刀禰を務めることになっているという。が、棟札をみると時代によって、その数が違っている。



1666 年（寛文 6）この宮は、もと字宮の峠（重富の酒井家のそら）にあったのを、この時、現在地本郷に移したという。当時は重富側に参道があり、宮は重富に向かっていたという伝承がある。現在でも、重富の宮から本郷山田屋奥を経て、この宮に通ずる道がある。

1751 年（寛延 4）の棟札によると、4 月 27 日御宝殿の造営が行われている。時の神主は山根大和であった。1873 年（明治 6）5 月村社となる。1907 年（明治 40）神饌幣帛供進社となる。1912 年（大正元）境内にあった松の古木が倒れ、お宮が押しつぶされたので改築した。（旭町誌上巻より抜粋）

※神饌幣帛供進社（しんせんへいはくきょうしんしゃ）とは、郷社、村社を対象に明治から終戦に至るまで勅令に基づき県令をもって県知事から、祈年祭、新嘗祭、例祭に神饌幣帛料を供進された神社。

相手がね 傷つく言葉 言っちゃダメ

★続いては和田地区に伝わる伝説のコーナーです★



立石

重富生活改善センターの川向う・プールの手前の石



重富を名乗りこの地に移り住んで277年余り。あの石の辺に私たちの住んでいた館があったんです。昔も今と変わらず川の流れは清き瀬音をたてて大河へと続いています。仰ぐとその下に馬を走らせる馬場があって郎党たちの元気な声がこだましていました。

その向こうに重富の菩提寺があり、そこは郎党たち・兵が寝泊まりする場でもあり病院、食堂も兼ねた生活の場だったんです。

私は夫を助け一族をまとめる役もあり、朝な夕なに飯の支度もし、忙しく暮らしていました。館の前の川岸に立つと川を挟んで、両側の山の斜面を今と同じように雨上がりには霧が峰を目指して上っていくのを見ました。

水のきれいな流れに手を浸し平和なひと時、戦の無い世を夢に見ていました。



(文・絵 佐々岡健次)



みんなは「初日の出」を見たり「初詣」に行くのかな？

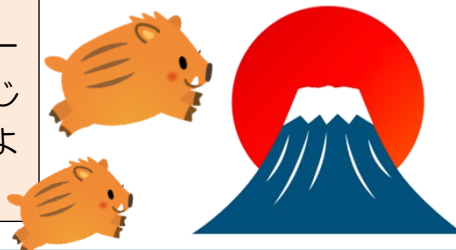
知っておもしろミニ知識

PHP 日本のしきたり
絵事典より



★初日の出は、その年初めの太陽が姿を現わした瞬間のことをいいます。

もとは、年の初めの太陽と一緒に神様が降りてくると信じたことから始まった習慣のようだね。



★初詣も新しい習慣で、広まったのは明治以降なんだよ。それ以前は、年神様をそれぞれの家で迎えたり、氏神様が祭られた神社に一家の主が大晦日から籠って年神様を迎えたり、その年の良い方角にある神社やお寺にお参りに行っていたんだね。

1月7日までの「松の内」にお参りをする人が多いようです。

教子ウィムセットの海外便り 第1回

ナッシュビルからこんにちは！

ハロー！はじめまして。私は、ノリコ（教子）ウィムセットと申します。
前回までの連載を担当していた姉、陽子から引き継ぎまして、今回より私、妹の教子が担当させていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、私が住んでいるテネシー州、ナッシュビル市を皆さんはご存知でしょうか？南部に位置するテネシー州は日本と同じような四季があり、気候も島根県と似ていて大変過ごしやすい場所です。夏は湿気が多く、気温は40度まで上がる日もあり、また、冬はマイナス10度まで下がり、和田のようにたくさんは積もりませんが11月には初雪が降ります。

そして、ナッシュビルはミュージックシティと呼ばれ、音楽の中心地でもあります。日本では、テネシーワルツやチャタヌーガ・チューチューといった曲をご存じの方もいらっしゃるかなと思います。



私は
こちら



の街でスポーツが大好きな夫・キオンとテコンドーに毎日通う長男・ジャメイン8歳、サッカーに夢中の次男・パリス5歳、2匹の犬と暮らしています。これからナッシュビル市の様子や

ウィムセット家の暮らし、子供の通う小学校でのイベント、私の働く病院の仲間たち、アメリカのペット事情などなど・・・たくさん紹介していきますので、楽しみにしてくださいね！！^{シー ユー ガイズ ゼン} See you guys then！（またお会いしましょう！）

（文・写真 教子ウィムセット）

写真募集中！

「懐かしの和田、あの日の1枚」

★和田地区の古い写真を募集します。風景、行事など和田地区の様子がわかれば大丈夫です。押入れの奥に眠っていませんか？

★古い写真を片付けようかな？と思っている貴方！捨てる前に公民館へご連絡を！

今回は三隅火力発電所についてお話しします。

浜田市三隅町でいよいよ日本最大級の火力発電所の建設が11月1日に着工されました。これからは、工事業者でにぎやかになるでしょう。あさひ温泉客の利用を期待したいですね。完成までは、4年間かかるそうです。

《三隅発電所2号機建設計画の概要》

所在地 浜田市三隅町岡見1810

発電方式 超々臨界圧発電（USC）

燃料の種類 石炭、木質バイオマス

準備工事開始 2018年7月1日

本体工事開始 2018年11月1日

営業運転開始 2022年11月予定

出力 100万キロワット

浜田市の世帯数は約24,400世帯です。

100万キロワットで33万世帯が賄えますので、2号機が完成すると66万世帯が賄えることになります。



現在火力100万キロワット稼働中です



次は

～つぬちゃんのこなのやりましたコーナー～



11月30日（金）米粉パン作り講習会を開催しました。講師は都川の白川則子さんです。和田地区の大部分を占める農産品といえばやっぱり「お米」。そのお米の食べ方の一つとして米粉パン作りを習いました。当日のメニューは「あんパン」と「ロールパン」そしておまけの「米粉ピザ」でした。生地をこねる、形をつくる、あんを包む、焼き上げる、という作業を2名の男性を含めた参加者が協力して行いました。次回はメロンパンに挑戦したいと参加者の話も盛り上がりしました。



あ と が き

2019年には、天皇陛下の退位により和暦が変わります。その為テレビ等で「平成最後の〇〇」という言葉をよく耳にします。1月3日には浜田市の成人式が開催され、その後引き続いて旭自治区では「おめでとう、旭の新成人」としてお祝いの会が開催されます。これまでの会では新成人の新鮮で力強い決意を聞き胸が熱くなりました。平成最後の新成人を祝う会に皆さんもぜひ参加してみてください。きっと清々しい気分になれるですよ！（美）